

共通の操作

操作する前に、車のイグニッションスイッチを「ACC」または「ON」にしてください。

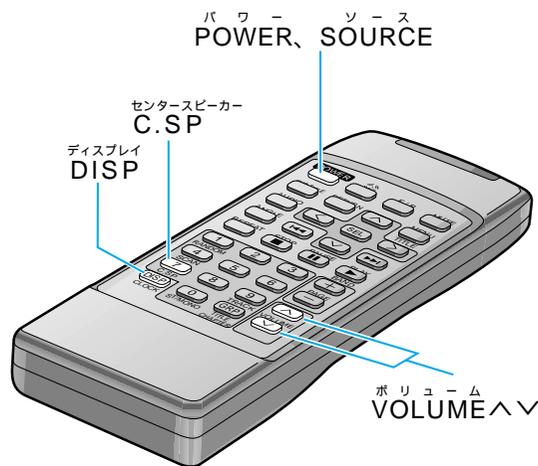
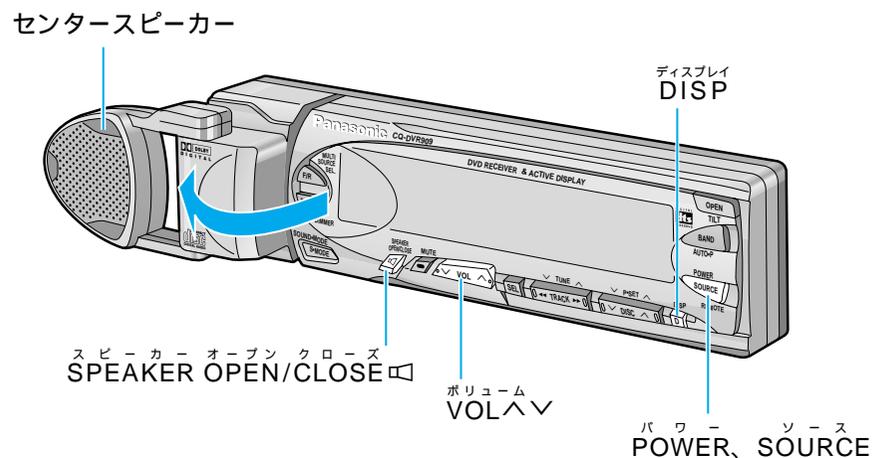
警告

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



禁止

走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。表示された画像を注視しないでください。



電源を「入/切」する

POWER(SOURCE)を押す

電源が入ります。
初めてご使用になるときはラジオを受信し、“Panasonic Presents.....”の文字(デモモード)が表示されます。デモモードのままでは操作できないので、**DISP**を押して表示を切り替えてください。

お知らせ

ディスクを出し入れしたときも、電源が「入/切」します。(☞26ページ)

POWER(SOURCE)を1秒以上押す

電源が切れます。

センタースピーカーを開く

閉じていると、音が出ません。

C.SP(7)を押す(本体の場合は )

押すごとに、開閉します。
DVD/ビデオCDを再生中に、リモコンで開く場合は、**C.SP**(7)を2秒以上押ししてください。

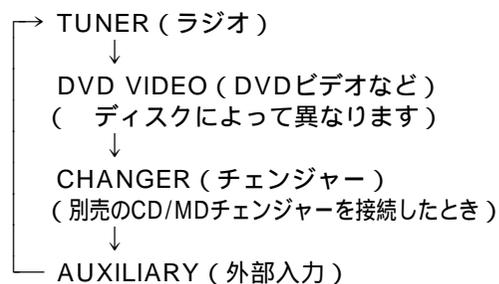
お知らせ

出力レベル/音量を調整できます。(☞18、46ページ)
パネルが開いているときは、開閉できません。

音源(ソース)を選ぶ

SOURCE(POWER)を押す

押すごとに切り替わります。



お知らせ

次のような場合は、そのソースに切り替わりません。
ディスクが入っていないとき
チェンジャーにマガジンが入っていないとき

音量を調整する

調整範囲：0～40

VOLUME↑ (音量が上がる)

VOLUME↓ (音量が下がる)を押す

お知らせ

ソースを切り替えると、そのソースで前に調整した音量に変わります。
インテリジェントボリューム

使いかた

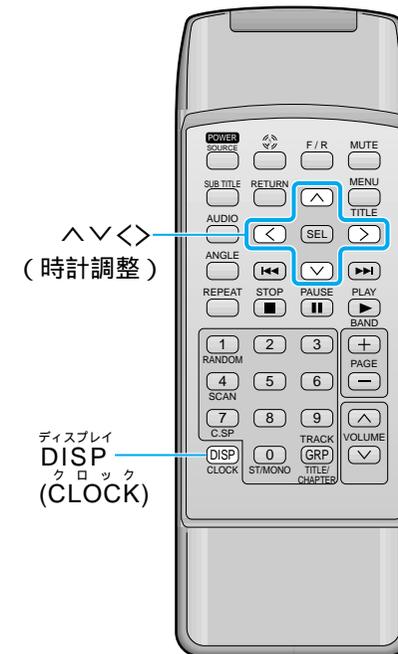
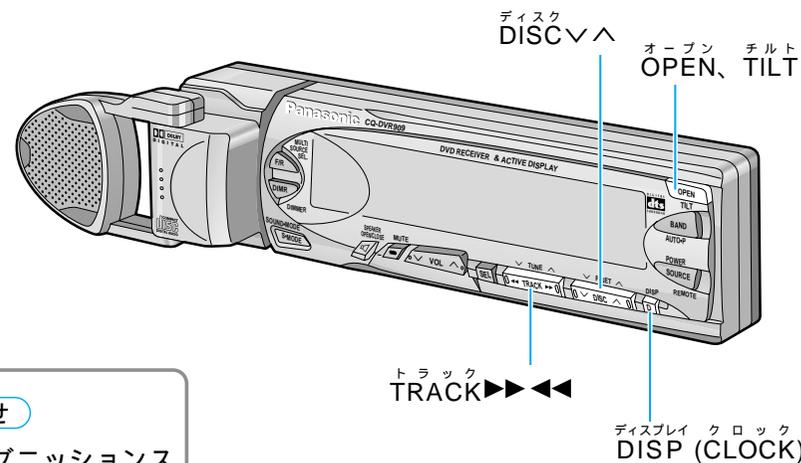
⚠ 注意

可動部やディスク挿入口に
手・指を入れない



禁止

可動部やディスク挿入口に
手・指を入れると、けがや
故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。



本体のみ

パネルの角度 を変える

パネルの表示が見やすくなります。

TILT (OPEN)を1秒以上押す

ボタンを1秒以上押すごとに、角度が変わります。
＜チルト機構：3段階＞

お知らせ

車のイグニッションスイッチを「ACC」または「ON」にすると、パネルが調整されていた角度まで開きます。

本体のみ

パネルを 開閉する

OPEN (TILT)を押す

パネルが開きます。

OPEN (TILT)を1秒以上押す

パネルが閉まり、調整されていた角度に戻ります。

OPEN (TILT)を押す

パネルが全閉します。
(角度調整が解除されます。)

お知らせ

約20秒間何も操作をしないと自動的にパネルが閉まり、調整されていた角度に戻ります。

車のイグニッションスイッチを「OFF」にするとパネルが全閉します。

パネルが開いているときはミュートされるので、一部のボタンを除いて操作できません。

時計を調整する

24時間表示です。

- DISP (CLOCK)を2秒以上押す**
⌚ 0:00
- 時/分を切り替えて、調整する
 - <: 時間表示が点滅する。
(本体の場合は TRACK◀◀)
 - >: 分表示が点滅する。
(本体の場合は TRACK▶▶)
 - ^: 時/分が進む。
(本体の場合は DISC^)
 - v: 時/分が戻る。
(本体の場合は DISCv)
- DISP (CLOCK)を押す**
⌚ 10:35
時計が動き始めます。

時計を表示させるには
DISP (CLOCK)を押す。

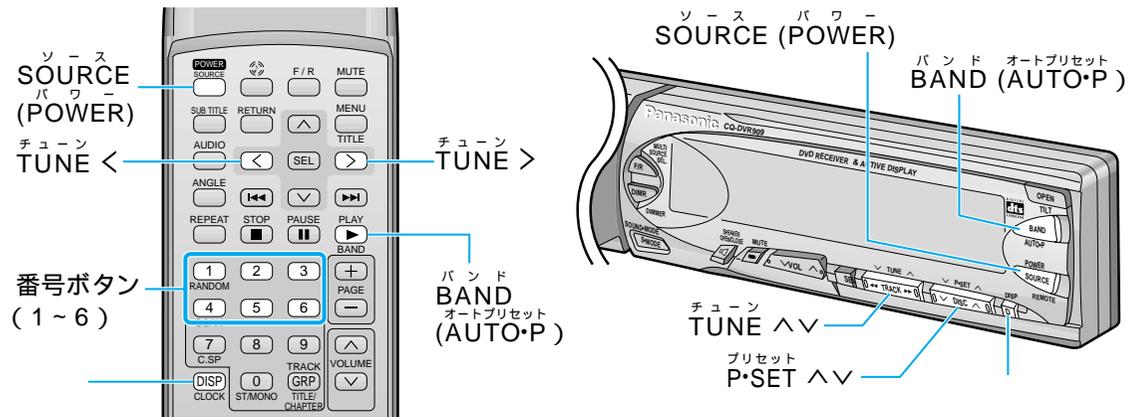
時計が表示されるまで、何回か押してください。
(時計を調整していないときは、“ADJUST”が表示されます。)

使
い
か
た

お願い

パネルやセンタースピーカーは、手で動かしたり・動きを妨げたり・無理な力を加えたりしないでください。

ラジオを聴く



ラジオを聴く

1 “TUNER” を選ぶ

[SOURCE] (POWER) を押す。
ラジオを受信します。

2 バンドを選ぶ

[BAND] を押す。
押すごとに切り替わります。
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
↑

3 放送局を選ぶ

[TUNE >] (周波数が上がる)
[TUNE <] (周波数が下がる) を押す。
押すごとに切り替わります。順送り
0.5秒以上押し続けると、ボタンをは
なした時点から探し始め、放送を受信
すると止まります。シーク

お知らせ

別売のダイバーシティアンテナを接続し、「FMダイバーシティアンテナ受信」を設定すると、FM放送の受信状態がよくなります。(P.50ページ)

表示を切り替える

[DISP] を押す

押すごとに切り替わります。
通常表示 (バンド・プリセット番号・周波数) → 時計表示 → ディスプレイ消灯



放送局を記憶させておくと...かんたんに選局できます

FM、AMともバンドごとに6局まで記憶できます。(最大24局)

1局ずつ手動で記憶させる

(プリセットメモリー)

受信中の放送局を記憶させます。

バンドと放送局を選んでから、
番号ボタン (1~6) を2秒以上押す
周波数が1回点滅すると、記憶されます。

本体で操作するときは

- ① [P・SET△] または [P・SET▽] を2秒以上押す
プリセット番号が点滅します。
- ② [P・SET△] でプリセット番号を選ぶ
([P・SET▽] : 逆回り)
- ③ [TUNE△] [TUNE▽] で放送局を選ぶ
- ④ [P・SET△] または [P・SET▽] を2秒以上押して、記憶させる
プリセット番号の点滅が止まり、周波数が1回点滅します。

設定の途中で解除するには

[DISP] を押す

複数の放送局を自動で記憶させる

(オートプリセットメモリー)

受信状態のよい放送局を探し、自動的に記憶させます。

バンドを選んでから、
[BAND (AUTO・P)] を2秒以上押す

低い周波数から、受信状態のよい順にプリセット番号1~6へ記憶されます。

記憶が終わるとプリセット番号が点滅し、約5秒ずつ次々に呼び出されます。
プリセットスキャン

プリセットスキャンを止めるには

番号ボタン (1~6) でプリセット番号を選ぶ
(本体で操作するときは、
[P・SET△] または
[P・SET▽] でプリセット番号を選ぶ。)

記憶された放送局を呼び出す

(プリセット受信)

バンドを選んでから、
番号ボタン (1~6) を押す

記憶されている放送局を受信します。

本体で操作するときは

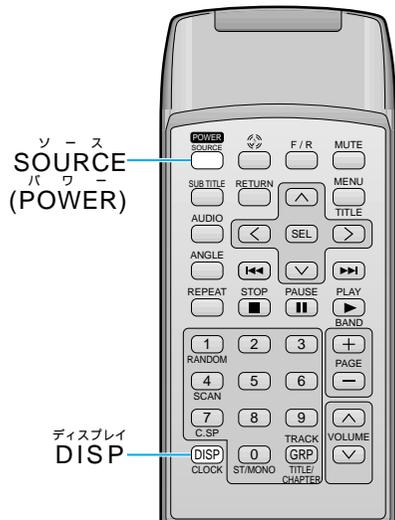
- [P・SET△] でプリセット番号を選ぶ
([P・SET▽] : 逆回り)

DVD オーディオ・ビデオ/ビデオCD/CD を再生する

リモコンで操作してください

DVDオーディオ それぞれの操作で
DVDビデオ 対応するディスク
ビデオCD を表わしています
CD

操作はディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの説明をご参照ください。操作の前に、テレビの接続設定 (P.36 ページ) を確認してください。



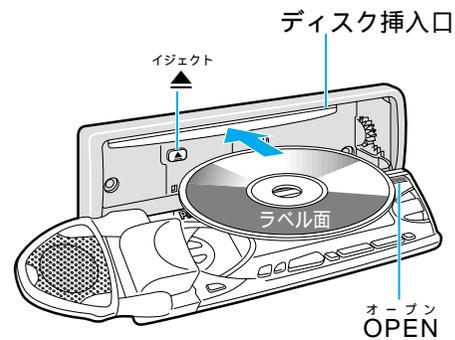
注意

可動部やディスク挿入口に
手・指を入れない



禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

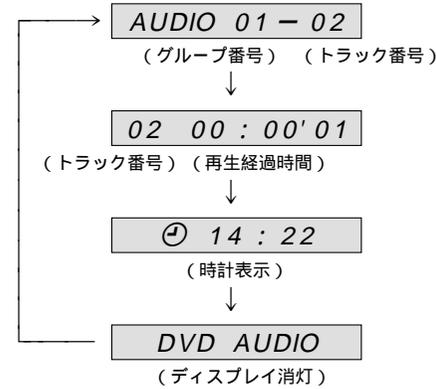


表示を切り替える

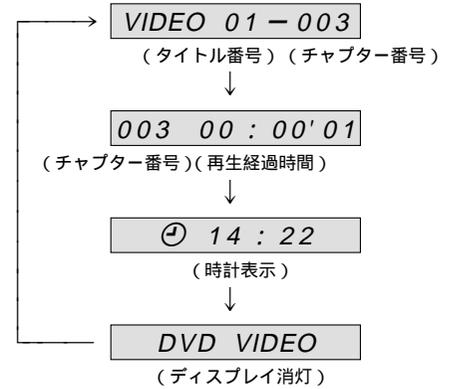
DISP を押す

押すごとに切り替わります。

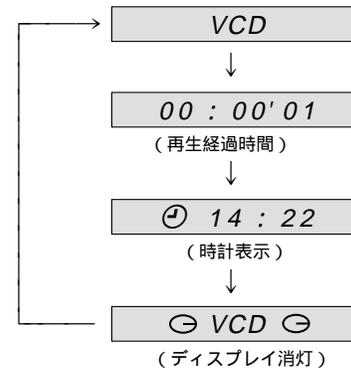
DVD オーディオのとき



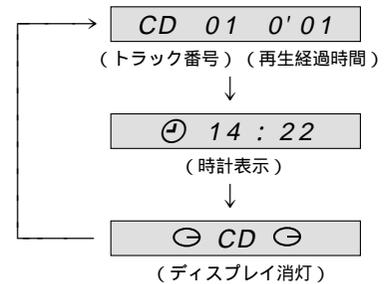
DVD ビデオのとき



ビデオCD のとき



CD のとき



DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

再生する

ドルビーデジタルのソフトを再生するときには、“DR COMP ON” にすると、小さな音が聞き取りやすくなります。(P.52 ページ)

ディスクを入れる

OPEN を押して、ディスクを入れる。
(パネルが開いてからディスクを引き込むまで、数秒かかることがあります。)
パネルが閉まり、ディスクが再生されます。

ディスクが入っているときは
SOURCE (POWER) を押して、DVD/ビデオCD/CD モードを選ぶ
メニュー画面が表示されたときは (CDを除く)
メニューを選ぶ (P.28 ページ)

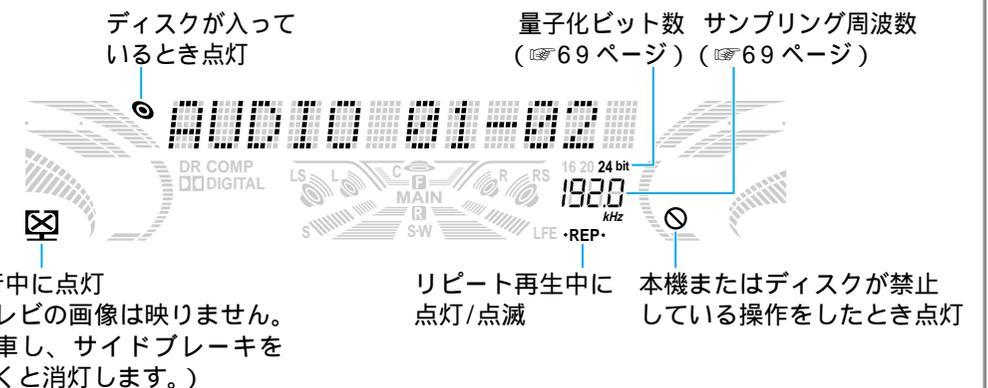
ディスクを取り出すには
OPEN を押してパネルを開き、
EJECT を押す

お願い

パネルの開閉を妨げないでください。ディスクを無理に押し込まないでください。キズなどがつく恐れがあります。パネルが完全に開いているときは、パネルに無理な力を加えたり、パネル上のボタンを強く押さないでください。

お知らせ

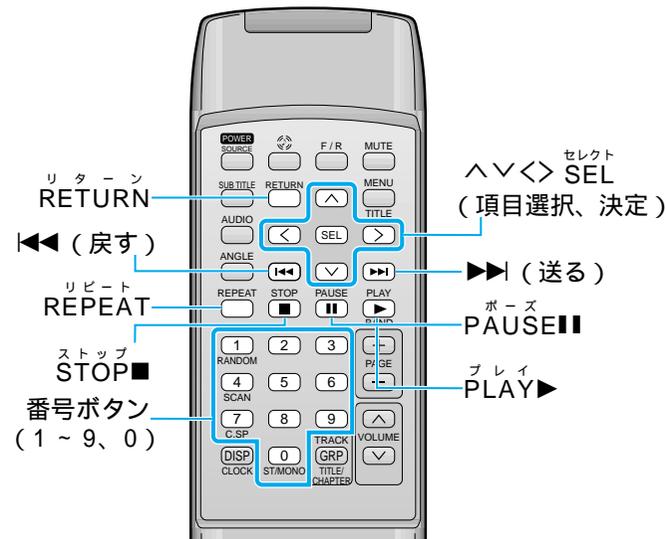
DVD/ビデオCD/CDモードのときにディスクを取り出すと電源が切れます。電源が切れているときにディスクを入れると、電源が入ります。



使いた

DVD オーディオ・ビデオ/ビデオCD/CD を再生する

DVDオーディオ それぞれの操作で
DVDビデオ 対応するディスク
ビデオCD を表わしています
CD



DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD

メニューを 選ぶ

DVD のとき

↑ ↓ > < を押して項目を選び、
SEL を押す



DVD/ビデオCD (プレイバックコントロール
付き) のとき

番号ボタンを押して項目を選び、
SEL を押す



ひとつ前のメニュー画面に
戻す/番号を入力し直すには
RETURN を押す

お知らせ

ビデオCD (プレイバック
コントロール付き) の再生
中に 送る 戻る を押す
と、メニュー画面に戻る
ことがあります。

操作はディスクによって
異なります。詳しくは、
ディスクの説明をご参照
ください。

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD

再生を止める

STOP を押す

“STOP” が点滅します。

PLAY を押すと、止めたところから再生が始まります。

続き再生機能

(停止中に、もう一度 STOP を押すと、“STOP” が点灯に変わり、
続き再生機能が解除されます。)

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

早送り/ 早戻しする

送る (送る) 戻る (戻す)

を 0.5 秒以上押す

押しつづけると、速度が変わり、はなしたところから再生されます。

DVD ビデオ/ビデオCD のとき

通常速度 → 1.5 倍 → 10 倍 → 20 倍

DVD オーディオ/CD のとき

通常速度 → 20 倍

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

頭出しする

送る (送る) 戻る (戻す) を押す

押すごとに、トラック/チャプターが頭出
しされます。

戻し方向に 1 回押すと、再生中のトラック/
チャプターの先頭に戻ります。

お知らせ

DVD オーディオ・ビデ
オの再生中は、グループ
(タイトル) をまたが
ったトラック(チャプター)
の頭出しができません
があります。

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD

一時停止 (静止) する

再生中に、PAUSE を押す

“PAUSE” が表示され、一時停止 (静止)
します。

通常の再生に戻すには
PLAY または
もう一度 PAUSE
を押す

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

くり返し 再生する (リピート機能)

再生中に、REPEAT を押す

“REP” が点灯します。

DVD オーディオ/ビデオCD/CD のとき
“TRACK REP ON” が表示され、再生
中のトラックがくり返されます。

DVD ビデオのとき

“CHAPT REP ON” が表示され、再生
中のチャプターがくり返されます。

通常の再生に戻すには
REPEAT を押す

再生中に、REPEAT を 2 秒以上押す

“REP” が点滅します。

DVD オーディオのとき

“GROUP REP ON” が表示され、再生
中のグループがくり返されます。

DVD ビデオのとき

“TITLE REP ON” が表示され、再生中
のタイトルがくり返されます。

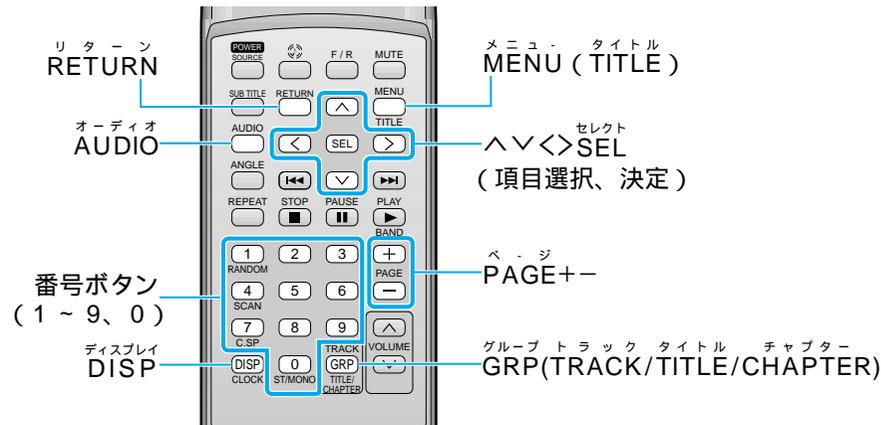
通常の再生に戻すには
REPEAT を
2 秒以上押す

使
い
か
た

DVD オーディオ・ビデオ/ビデオ CD/CD を再生する

DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

それぞれの操作で
対応するディスク
を表わしています



DVDオーディオ
DVDビデオ

好みの
グループ/
トラック/
タイトル/
チャプター
から再生する

①再生中に、**GRP**を押して、入力モードを選ぶ

DVD オーディオのとき

- 通常モード
- ↓
- トラック番号入力モード (トラック番号が点滅)
- ↓
- グループ番号入力モード (グループ番号が点滅)

DVD ビデオのとき

- 通常モード
- ↓
- チャプター番号入力モード (チャプター番号が点滅)
- ↓
- タイトル番号入力モード (タイトル番号が点滅)

②番号ボタンで、グループ/トラック/タイトル/チャプター番号を入力する

③ **GRP**を押す

再生が始まります。

ボーナスグループ()を再生するには (DVD オーディオのみ)

- ① **GRP**を押して、グループ番号入力モードを選ぶ
- ② 番号ボタンを押して、ボーナスグループ番号を入力し、**GRP**を押す
“KEY NUM: - - - -”が表示されます。
- ③ 番号ボタンを押して、暗証番号を入力する
- ④ **SEL**を押す

通常モードに戻すには **DISP**を押す

番号を入力し直すには **RETURN**を押す

お知らせ
(DVD オーディオのみ)
GRPを2秒以上押すと、次のグループの先頭にとびこします。

DVD オーディオのソフトだけに収録されているもので、暗証番号を入力しないと再生できません。(ボーナスグループが収録されていないソフトもあります) 詳しくは、ディスクの説明をご参照ください。

DVDオーディオ
DVDビデオ

音声言語を
切り替える
(マルチ音声機能)

再生中に、**AUDIO**を押す

押すごとに、音声言語が切り替わります。

DVD オーディオのとき

- AUDIO : 01
- ↓
- AUDIO : 02 (最多で2まで)

再生中のトラックの先頭に戻ることがあります。

DVD ビデオのとき

- AUDIO : 01
- ↓
- AUDIO : 02
- ↓
- AUDIO : 03
- ↓
- ⋮
- AUDIO : 08 (最多で8まで)

お知らせ
DISPを押す、または約2秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。
音声言語の数はディスクによって異なります。(1つしかないものもあります)
DVDメニュー(下記参照)または初期設定(34ページ)でないと、音声を切り替えられないことがあります。

DVDオーディオ
DVDビデオ

DVDメニュー
を使う

それぞれのディスクに特有のメニュー(DVDメニュー)から、内容、音声や字幕などを選んで再生できます。

①再生中に、**MENU**(TITLE)を押す

“PLAY”が表示され、DVDメニューが画面に表示されます。
(もう一度押すと、DVDメニューを呼び出した場面から再生されます)

例)

② **↑** **↓** **→** **←** で項目を選び、**SEL**を押す

ひとつ前のメニュー画面に戻すには **RETURN**を押す

お知らせ
DVDメニューの内容や操作はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明をご参照ください。

DVDオーディオ

静止画を
送り/戻し
する(ページ機能)

再生中の音楽はそのまま、静止画のみを送り/戻しできます。

PAGE+(送る) **PAGE-**(戻す)を押す

押すごとに画像が切り替わります。

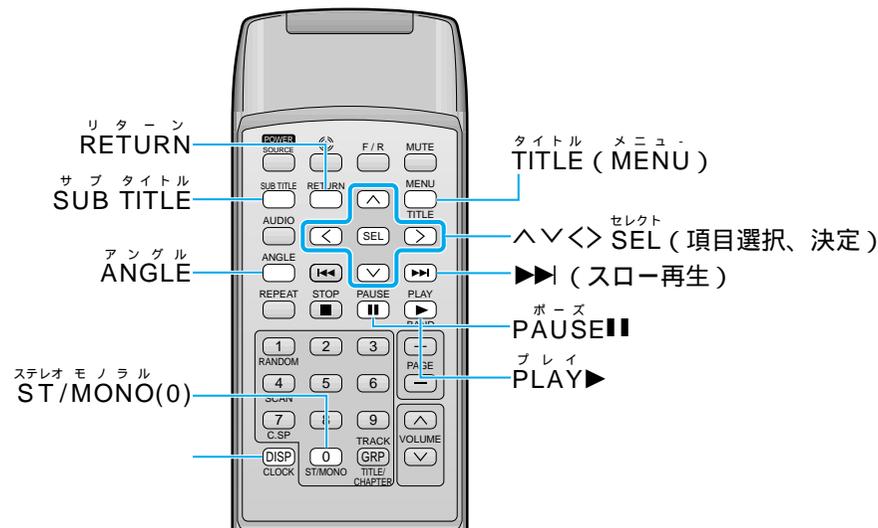
特定の画像にとびこすには **RETURN**を押す

お知らせ
ディスクによっては、静止画の送り/戻しに制限があることがあります。
また、内容はディスクによって異なります。詳しくはディスクの説明をご参照ください。

使
い
か
た

DVD オーディオ・ビデオ/ビデオCD/CD を再生する

DVDオーディオ それぞれの操作で
DVDビデオ 対応するディスク
ビデオCD を表わしています
CD



DVDビデオ
ビデオCD

スロー再生 する

①再生中に、**PAUSE** を押す
“PAUSE”が表示されます。

② **▶▶** を 0.5 秒以上押す
“SLOW PLAY”が表示されます。
通常の約 3 分の 1 の速度で再生されます。

静止するには
PAUSE を押す
通常の再生に戻すには
▶ を押す

お知らせ
戻し方向のスロー再生
はできません。

DVDビデオ

字幕言語を 切り替える (マルチ字幕機能)

再生中に、**SUB TITLE** を押す
初めは、初期設定で設定されている字幕言語が表示されます。(この言語が記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。)
押すごとに、字幕言語が切り替わります。
(最多で 32 まで)

```

SUB TITLE : OFF
↓
SUB TITLE : 01
↓
SUB TITLE : 02
↓
SUB TITLE : 03
↓
:
    
```

お知らせ
DISP を押す、または約 2 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。
字幕言語の数はディスクによって異なります。
字幕が記録されていないときは“⊙”が点灯します。
DVD メニュー (31 ページ) または初期設定 (34 ページ) でないと、字幕を切り替えられないことがあります。
字幕が表示されるまでに多少時間がかかることがあります。

DVDビデオ

角度 (アングル) を切り替える (マルチアングル 機能)

再生中に、**ANGLE** を押す
押すごとに、アングルが切り替わります。
(最多で 8 まで)

```

ANGLE : 01
↓
ANGLE : 02
↓
ANGLE : 03
↓
:
    
```

お知らせ
DISP を押す、または約 2 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。
複数のアングルが記録されていないときは、“⊙”が点灯します。

DVDビデオ

タイトル メニューを 使う

①再生中に、**TITLE**(MENU)を 2 秒以上押す
“PLAY”が表示され、タイトルメニューが画面に表示されます。
(もう一度押すと、タイトルメニューを呼び出した場面から再生されます)

例)

タイトルメニュー
パリ
ローマ
ロンドン

② **▲ ▼ ▶ ◀** を押して項目を選び、**SEL** を押す

ビデオCD

音声 (ステレオ/ モノラル) を切り替える

ST/MONO(0)を 2 秒以上押す
2 秒以上押すごとに、L (左チャンネル) R (右チャンネル) が切り替わります。

```

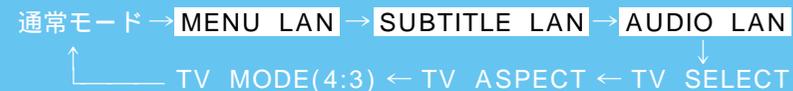
L/R CH ST (ステレオ)
↓
L/R CH L (左チャンネル)
↓
L/R CH R (右チャンネル)
    
```

“L/R CH L”または“L/R CH R”のときは、左右両方のスピーカーから、左または右チャンネルの音が出力されます。

使いた

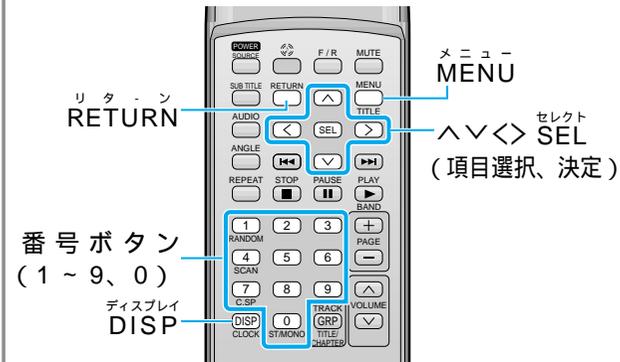
DVD オーディオ・ビデオ/ビデオCD/CDを再生する

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。



DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

それぞれの操作で対応するディスクを表わしています

	<h2>1 項目を選び、</h2> <p>ディスクが停止中に、MENU を押して、項目を選ぶ。</p> <p>設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。</p>	<h2>2 設定する</h2> <p>> を押して、切り替える。 (< : 逆回り)</p> <h2>3 通常モードに戻す</h2> <p>MENU を2秒以上押す。 設定が完了します。</p>	<p>お知らせ</p> <p>DISP を押すと、通常モードに戻ります。(設定は無効になります。) 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が選ばれます。</p>
<p>DVDオーディオ DVDビデオ</p> <p>メニュー言語 初期設定：日本語</p>	<p>MENU LAN を選び (LAN: LANGUAGE)</p>	<pre> MENU LAN1 : ja (日本語) ↓ MENU LAN2 : en (英語) ↓ MENU LAN3 : - - (その他) </pre>	<p>「その他」のときは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① △ または ▽ を押す “CODE: - - - -”が表示されます。 ② 番号ボタンで4ケタの言語番号(70ページ)を入力する ③ SEL を押す <p>番号を入力し直すには RETURN を押す</p>
<p>DVDビデオ</p> <p>字幕言語 初期設定：日本語</p>	<p>SUBTITLE LAN を選び</p>	<pre> SUBT LAN1 : ja (日本語) ↓ SUBT LAN2 : en (英語) ↓ SUBT LAN3 : zh (中国語) ↓ SUBT LAN4 : - - (その他) ↓ SUBT LAN : OFF (字幕なし) </pre>	
<p>DVDオーディオ DVDビデオ</p> <p>音声言語 初期設定：日本語</p>	<p>AUDIO LAN を選び</p>	<pre> AUD LAN1 : ja (日本語) ↓ AUD LAN2 : en (英語) ↓ AUD LAN3 : zh (中国語) ↓ AUD LAN4 : - - (その他) </pre>	

初期設定を
変更する

使
い
か
た

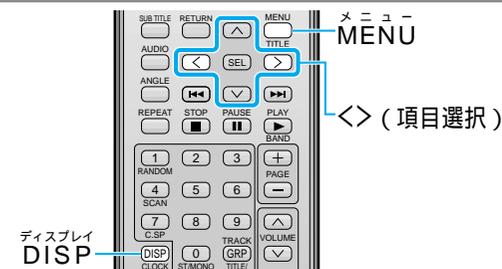
DVD オーディオ・ビデオ/ビデオCD/CD を再生する

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。



DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
CD

それぞれの操作で対応するディスクを表わしています



1 項目を選び、
 ディスクが停止中に、**[MENU]** を押し
 て、項目を選ぶ。
 設定の項目は、右上(☆)のように
 切り替わります。

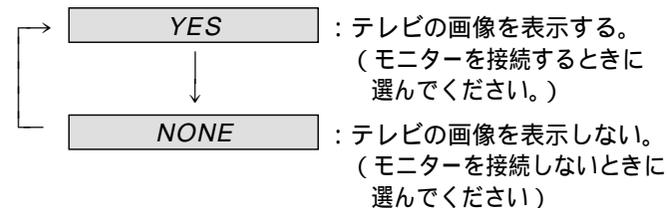
2 設定する
[<] [>] を押して、切り替える。
3 通常モードに戻す
[MENU] を 2 秒以上押す。
 設定が完了します。

お知らせ
[DISP] を押すと、通常モードに戻ります。
 (設定は無効になります。)

初期設定を
変更する

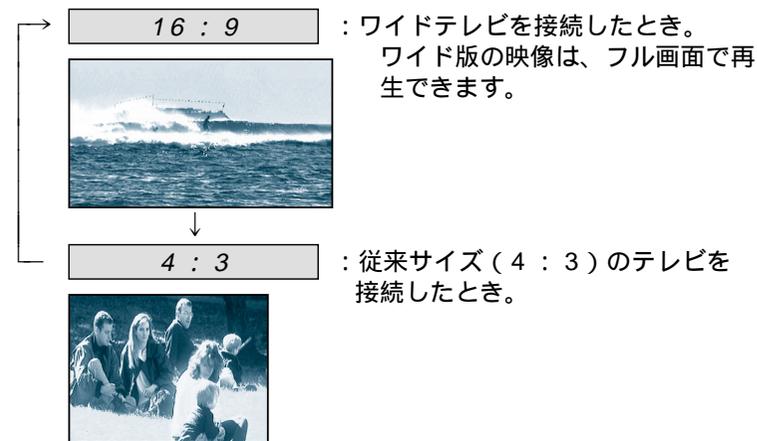
DVDオーディオ
テレビの接続設定
 モニターを接続していないとき、
 メニュー画面で再生が止まること
 を防ぐための設定です。
 初期設定：YES

[TV SELECT] を選ぶ



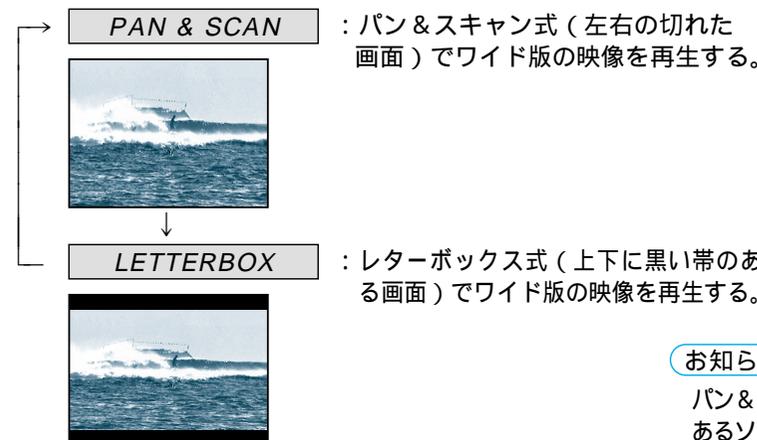
DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
テレビのアスペクト比
 接続したテレビの画面サイズ
 (4 : 3 または 16 : 9) に
 応じて変更します。
 初期設定：16 : 9

[TV ASPECT] を選ぶ



DVDオーディオ
DVDビデオ
ビデオCD
**テレビの映像モード
(4 : 3)**
 従来サイズのテレビ(4 : 3)
 で、ワイド版の映像を再生する
 ときの画像サイズを設定します。
 初期設定：
 PAN & SCAN

[TV MODE (4:3)] を選ぶ

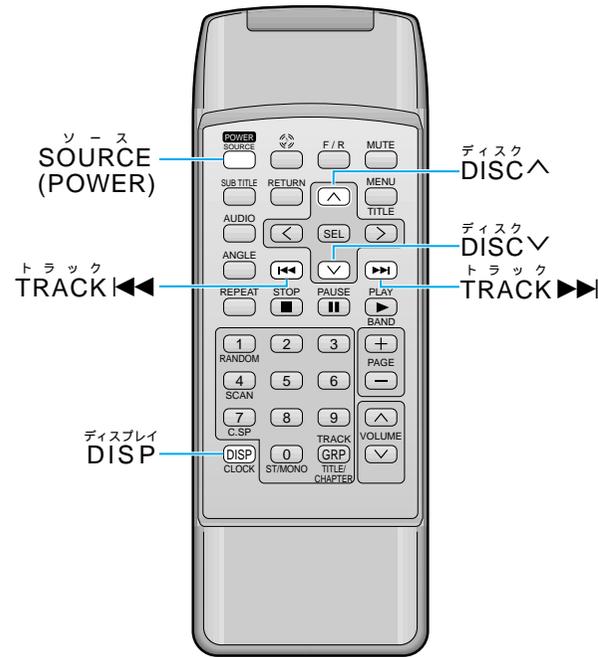


お知らせ
 パン&スキャンまたはレターボックスの指定が
 あるソフトでは、設定しても無効になります。

使
い
か
た

チェンジャーでCD/MDを聴く

別売のCDチェンジャー（CX-DP1205D等）
またはMDチェンジャー（CX-MD6D）を接続してください。



表示を切り替える

DISP を押す

押すごとに切り替ります。

→ 通常表示（ディスク番号・曲番号・再生経過時間）

↓
時計表示

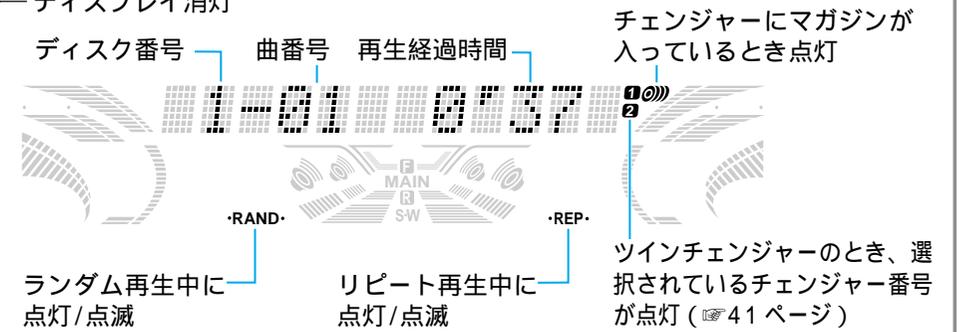
↓
MD ディスクタイトル表示

↓
MD トラックタイトル表示

↓
ディスプレイ消灯

お知らせ

タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE”の文字が表示されます。タイトル表示は、文字を流したり・止めたりできます。（P50ページ）
タイトル表示が静止しているときは、DISP を2秒以上押すと、一周だけ文字を流すことができます。再スクロール



ディスクを選ぶ

- DISC ^ （次のディスクに替わる）
- DISC v （前のディスクに替わる）を押す

曲を選ぶ

- TRACK >> （次の曲を頭出しする）
- TRACK << （現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする）を押す

早送り/早戻しする

- TRACK >>> （早送りする）
- TRACK <<< （早戻しする）を0.5秒以上押す
はなしたところから再生されます。

再生する

“CHANGER”を選ぶ

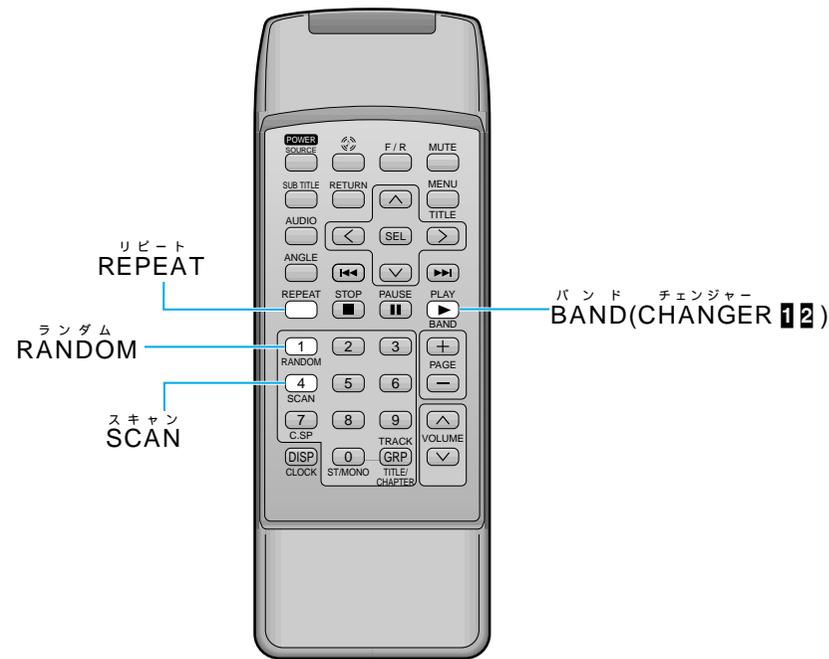
SOURCE (POWER)を押す。

チェンジャー内のディスクが再生されます。
“NO DISC”と表示されたときは、チェンジャー（マガジン）にディスクを入れてください。

お知らせ

チェンジャーにマガジンを入れると、
電源が切れているとき電源が入り、CHANGERモードになります。
（マガジンを抜くと、電源が切れます。）
他のサウンドソースのとき
CHANGERモードに切り替わります。

チェンジャーでCD/MDを聴く

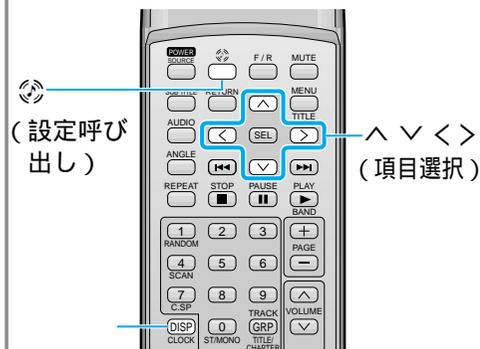


探す	<p>曲を探す (スキャンプレイ)</p> <p>チェンジャー内のディスクの全曲が、約10秒ずつ次々に再生されます。</p>	<p>SCAN を押す</p> <p>再生経過時間の表示が点滅します。一周すると、もとの曲の頭から再生します。</p>	<p>解除するには</p> <p>SCAN を押す</p>
	<p>ディスクを探す (ディスクスキャンプレイ)</p> <p>チェンジャー内のディスクの1曲目が、約10秒ずつ次々に再生されます。</p>	<p>SCAN を2秒以上押す</p> <p>ディスク番号の表示が点滅します。一周すると、もとのディスクの頭から再生します。</p>	<p>解除するには</p> <p>SCAN を2秒以上押す</p>

順不同で聴く	<p>全てのディスクから選曲される (ランダムプレイ)</p> <p>チェンジャー内のディスクの全曲から、規則性のない順で(ランダム)再生されます。</p>	<p>RANDOM を押す</p> <p>“RAND” が点灯します。</p>	<p>解除するには</p> <p>RANDOM を押す</p>
	<p>1枚のディスクから選曲される (ディスクランダムプレイ)</p> <p>現在聴いているディスクが、規則性のない曲順で(ランダム)再生されます。</p>	<p>RANDOM を2秒以上押す</p> <p>“RAND” が点滅します。</p>	<p>解除するには</p> <p>RANDOM を2秒以上押す</p>
くり返し聴く	<p>曲をくり返す (リピートプレイ)</p> <p>現在聴いている曲が、くり返して再生されます。</p>	<p>REPEAT を押す</p> <p>“REP” が点灯します。</p>	<p>解除するには</p> <p>REPEAT を押す</p>
	<p>ディスクをくり返す (ディスクリピートプレイ)</p> <p>現在聴いているディスクが、くり返して再生されます。</p>	<p>REPEAT を2秒以上押す</p> <p>“REP” が点滅します。</p>	<p>解除するには</p> <p>REPEAT を2秒以上押す</p>
<p>2台のチェンジャーで聴く (ツインチェンジャー)</p> <p>別売のツインチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)で接続してください。</p>	<p>BAND(CHANGER 1/2) を押す</p> <p>押すごとに切り替わります。CHANGER 1 ↔ CHANGER 2 選択されているチェンジャー番号(1または2)が点灯します。</p>	<p>お願い</p> <p>ツインチェンジャーコントロールユニットに、チェンジャーを1台しか接続しない場合CHANGER1に接続してください。</p>	

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。(* DVD オーディオ・ビデオ/DTS CD のみ)
 通常モード → PROLOGIC SEL → DOWN MIX SEL * → LOUD SEL → **BASS SEL**
 ↓
 SUB-WFR VOL ← CENTER VOL ← **BAL // FAD** ← **TREBLE SEL**

サウンドを設定する



1 項目を選び、

⊙ を押して、項目を選ぶ。
 設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。
 本体の場合は、**SEL** を押す。
 以下のように切り替わります。
 通常モード → **BASS SEL** → **TREBLE SEL**
 ↑ BAL // FAD ←

2 設定する

⬆ ⬇ または ⬆ ⬇ を押して、調整する。
 (本体の場合は **DISC** ⬆ **DISC** ⬇ または ⏪ ⏩)

お知らせ

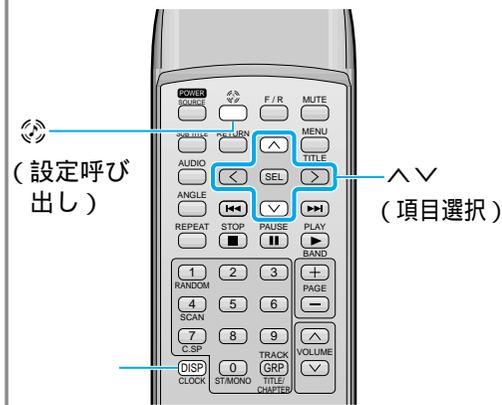
DISP を押すと、通常モードに戻ります。
 (設定が完了します)
 約 10 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します)

<p>低音域を調整する (ベース)</p> <p>初期設定：0(dB) 調整範囲：-12 ~ +12(dB) (2dB ごと)</p>	<p>BASS SEL を選び</p>	<p>⬆ : 低音域を強調する。 ⬇ : 低音域を低減する。</p> <p>BASS +6 dB</p>
<p>高音域を調整する (トレブル)</p> <p>初期設定：0(dB) 調整範囲：-12 ~ +12(dB) (2dB ごと)</p>	<p>TREBLE SEL を選び</p>	<p>⬆ : 高音域を強調する。 ⬇ : 高音域を低減する。</p> <p>TREBLE +6 dB</p>
<p>前後左右の音量バランスを調整する (バランス/フェダー)</p> <p>初期設定：CNT(センター) 調整範囲：各 15</p>	<p>BAL // FAD を選び</p>	<p>⬆ : 右側を強調する。 ⬇ : 左側を強調する。 ⬆ : 前方を強調する。 ⬇ : 後方を強調する。</p> <p>右側(RIGHT) 前方(FRONT) B : R 5 <> F : F 5 ↓ ↓ バランス(BAL) フェダー(FAD) B : L 5 <> F : R 5 ↓ ↓ 左側(LEFT) 後方(REAR) B : CNT <> F : CNT ↓ センター</p>

使いかた

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。(* DVD オーディオ・ビデオ/DTS CD のみ)
 通常モード → PROLOGIC SEL → DOWN MIX SEL * → LOUD SEL → BASS SEL
 ↑ SUB-WFR VOL ← CENTER VOL ← BAL // FAD ← TREBLE SEL ↓

サウンドを設定する



1 項目を選び、

設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。
 本体の場合は、**S-MODE** を押す。
 以下のように切り替わります。
 通常モード → PROLOGIC SEL
 ↑ SUB-WFR VOL DOWN MIX SEL
 CENTER VOL ← LOUD SEL ↓

2 設定する

↑ **↓** を押して、調整する。
 (本体の場合は **DISC↑** **DISC↓**)

お知らせ

DISP を押すと、通常モードに戻ります。
 (設定が完了します)
 約 10 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します)

センタースピーカーの音量を調整する

初期設定：0(dB)
 調整範囲：-∞
 -10 ~ +10(dB)
 (2 dB ごと)

CENTER VOL を選び

↑ : レベルが上がる。
↓ : レベルが下がる。

CENTER +6 dB

お知らせ

-∞ に設定すると、音が出なくなります。

サブウーファースの音量を調整する

初期設定：0(dB)
 調整範囲：-∞
 -10 ~ +10(dB)
 (2 dB ごと)

SUB-WFR VOL を選び

↑ : レベルが上がる。
↓ : レベルが下がる。

SUB-WFR +6 dB

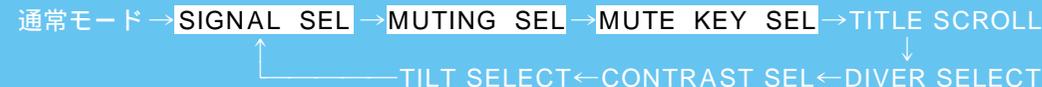
お知らせ

-∞ に設定すると、音が出なくなります。

別売のサブウーファースを接続してください。

その他の機能を設定する

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。



1 項目を選び、

- ① **[SEL]** を 2 秒以上押す。
- ② **[SEL]** を押して、項目を選ぶ。
(本体の場合は **[SEL]**)

設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。

2 設定する

- [>]** を押して、切り替える。
 (**[<]**: 逆回り、本体の場合は **[▶▶]** **[◀◀]**)

お知らせ

[DISP] を押すと、通常モードに戻ります。
 (設定が完了します)
 約 10 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します)

操作音を選ぶ

(シグナル音/ビープ音)

ボタンを押したときにセンタースピーカーから出る音(操作音)を選び、音量も調整できます。

初期設定: SIGNAL SOUND
 SIGNAL LEV 3

[SIGNAL SEL] を選び



音量を調整するときは
[^](音量が上がる)
[v](音量が下がる) を押す
 (調整範囲: LEV 1 ~ LEV 3)

[SIGNAL LEV 3]

お知らせ

電源を「入/切」したときの音は、「SIGNAL SOUND」設定時のみ出ます。

ナビゲーションの音声案内を聴きやすくする

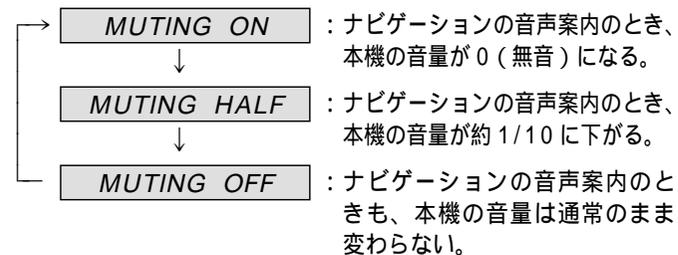
(ナビミュート)

ナビゲーションの音声案内における本機の音量の下がりがたを、お好みに合わせて選べます。

初期設定: MUTING ON

別売のカーナビゲーション(CN-DV3020D等)を接続してください。

[MUTING SEL] を選び



ナビゲーションが音声案内しているときは、ナビミュートの設定状態「MUTING * * *」の文字が表示されます。

MUTE(ATT)ボタンの機能を選ぶ

(MUTE ボタン設定)

MUTE(ATT)ボタンを押したときの音量の下がりがたを選べます。

初期設定: MUTE KEY

[MUTE KEY SEL] を選び



☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。



その他の機能を設定する



セレクト SEL
<>
(項目選択)

1 項目を選び、

- ① [SEL] を 2 秒以上押す。
- ② [SEL] を押して、項目を選ぶ。
(本体の場合は [SEL])

設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。

2 設定する

- [>] を押して、切り替える。
([<] : 逆回り、本体の場合は [▶▶] [◀◀])

お知らせ

[DISP] を押すと、通常モードに戻ります。
(設定が完了します)
約 10 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します)

タイトルを流して表示させる (タイトルスクロール)

MD チェンジャーのタイトルを、連続してスクロールさせたり、静止させて表示できます。

初期設定 : SCROLL ON

[TITLE SCROLL] を選び
(MD チェンジャーモードのとき以外は、“TITLE SCROLL” には切り替わりません。)



お知らせ

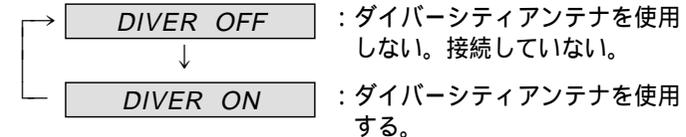
スクロールが止まっているときには、表示を一周だけスクロールすることができます。再スクロール [DISP] を 2 秒以上押す

FM 放送の受信を安定させる (FM ダイバーシティアンテナ受信)

別売のダイバーシティアンテナ(メイン・サブの 2 本)を接続してください。

初期設定 : DIVER OFF

[DIVER SELECT] を選び
(FM モードのとき以外は、“DIVER SELECT” には切り替わりません。)



お知らせ

メインアンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブアンテナに切り替えて受信します。

表示を見やすくする (コントラスト)

本機のディスプレイのコントラスト(陰・陽部分の差)を調整すると、表示が見やすくなります。

初期設定 : CONTRAST Lv3
調整範囲 : Lv 1 ~ 5

[CONTRAST SEL] を選び



パネルの角度を変えないで使う (チルト設定)

パネルの角度を調整せずにご使用になれます。
(22 ページ)

初期設定 : TILT ON

[TILT SELECT] を選び



便利な機能

☆ 設定の項目は、以下のように切り替わります。(* ドルビーデジタルのソフトのみ)
 通常モード → DR COMP SEL * → SP TYPE SEL → (停止中) SP LEVEL SEL → SP DELAY



1 項目を選び、

- ① ☆ を 2 秒以上押す。
 - ② ➡ を押して、項目を選ぶ。
(本体の場合は [S・MODE])
- 設定の項目は、右上(☆)のように切り替わります。

2 設定する

- ⏪ ⏩ を押して、切り替える。
(本体の場合は ⏩ ⏪)

お知らせ

[DISP] を押すと、通常モードに戻ります。
(設定が完了します)
 約 10 秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します)

小音量で聴きやすい音にする (ダイナミックレンジコンプレッション)

再生レベルの範囲(ダイナミックレンジ)を圧縮すると、音量を下げても、臨場感のある音声を保つことができます。

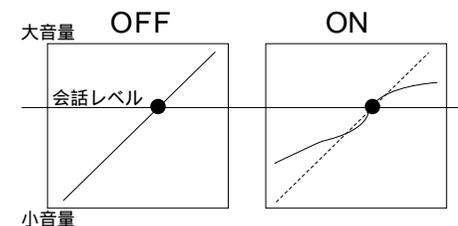
初期設定 : DR COMP OFF

ドルビーデジタルのソフト以外は設定できません。

DR COMP SEL を選び



“DR COMP” が点灯します。

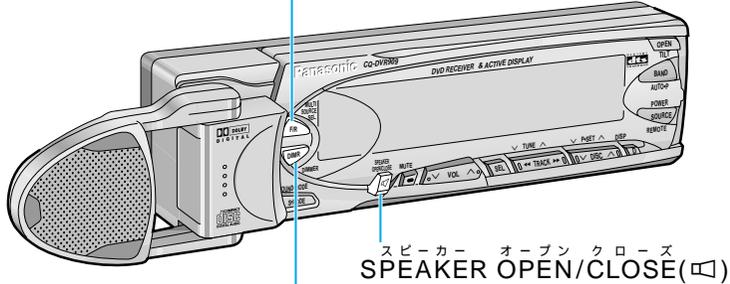


お知らせ

小さな音(映画のセリフなど)が聴き取りにくいときは、“DR COMP ON” にすると聴き取りやすくなります。

便利な機能

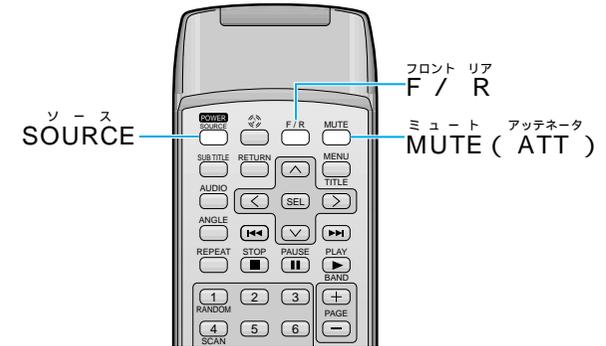
マルチソースセレクタ - フロントリア
MULTI SOURCE SEL (F / R)



ディマー
DIMMER(DIMR)

お知らせ

本体の **[DIMR]** **[F/R]** はセンタースピーカー内側のパネル面にあります。
→ **[]** を押して、センタースピーカーを開いてから操作してください。



本体のみ
ディスプレイの明るさを調整する (ディマー)

[DIMR] を押す
[初期設定：LEV 2 (車のスモールライト点灯時) LEV 3 (車のスモールライト消灯時)]
押すごとに切り替わります。
→ DIMMER LEV 3 : 照明が、明るくなる。
↓
DIMMER LEV 2 : 照明が、中間の明るさになる。
↓
DIMMER LEV 1 : 照明が、暗くなる。

一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)
音量の下がりかたは、設定 (MUTEまたはATT)によって異なります。(48ページ)

[MUTE(ATT)] を押す
[初期設定：MUTE OFF]
押すごとに切り替わります。
ミュート/アッテネータが“ON”のときは、“MUTE”が点滅し、一部のボタンを除いて操作ができなくなります。
設定が MUTE のとき
→ MUTE OFF : 通常の音量。
↓
MUTE ON : 音量が 0 (無音) になる。
設定が ATT のとき
→ ATT OFF : 通常の音量。
↓
ATT ON : 音量が約 1/10 に下がる。

前後のスピーカーで別々のソースを聴く (マルチソースセレクタ -)
フロントスピーカーとリアスピーカーで、同時に別々のソースを聴くことができます。(TUNERを除く)

[F/R] を押す
[初期設定：F MAIN]
“F MAIN”または“R MAIN”が点灯します。(操作中は点滅)
押すごとに切り替わります。
→ **[F]** MAIN : フロントの操作をするとき。
↓
[R] MAIN : リアの操作をするとき。
フロント、リアごとに、以下のことが設定できます。
・音量
・ソース
・サウンド設定 (ラウドネス、ベース、トレブル、バランス)(42 ~ 45ページ)
センタースピーカーとサブウーファーからは音が出ません。
[F] MAIN ↔ **[R] MAIN**
通常モード

解除するには **[F/R]** を 2 秒以上押す
・音量、ソース、サウンド設定は、フロントの設定になります。
・フロントが OFF のときに解除すると、電源が切れます。
・電源を切っても解除されません。

お知らせ
TUNER モードのときは、働きません。
[MUTE(ATT)] を押すと、どのスピーカーの音も 0 (約 1/10) になります。
スピーカー出力の設定は、自動的に“DOWN MIX ON”になります。(42ページ)

使いた

ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ

別途購入・取り付けが必要です。
ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディーブルーに光り、浮かび上がります。

お願い
ブラックライトを取り付けるときは、本機から 20 cm 以上離してください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。